

2016年11月28日

「日本GAP協会」推奨システム

双方向クラウド型農業管理システム「栽培ナビ」サービスをスタート

サービス名	双方向クラウド型農業管理システム 「栽培ナビ」
用途	栽培情報の「見える化」地域の農業経営を サポートするICT管理ツール
サービス開始日	2016年12月1日
販売価格	初期費用10万円(税別) 月額利用料金1,980円(税別) / 1 ID (基本パッケージ:30 ID / 1契約)

パナソニック株式会社は、12月1日より、スマートフォン、タブレット、パソコン等の端末を使用して、地域をささえる農業組織（農業協同組合、農業生産法人、流通販売組織等）と、生産者を双方向につなぐクラウド型農業管理システム「栽培ナビ」サービスを開始します。

農業の現場では、農業従事者の高齢化、担い手の不足、生産性の向上、安心・安全・品質向上への取り組み等、様々な課題を抱えています。このため、これまで経験と勘で培われてきた農業経営（営農）ノウハウの継承や栽培情報を「見える化」し、農業組織と生産者が相互に連携しながら最適な栽培方法や収益向上を目指す情報プラットフォームのニーズが高まっています。

本サービスは、専用サイトで農業組織と生産者が営農に関する様々なデータを記録、情報共有しながら、営農指導の効率化、品質向上・生産性向上等に役立てるための農業管理ツールです。農業従事者の高齢化を考慮し、ICTが不得手な方でも安心して使えるユニバーサルデザインを採用。視覚的に分かりやすく、かつ、選択肢形式で入力操作の低減を図りました。

また、近年、農作物の輸出が増える傾向にあり、食品の安全性向上や環境保全に取り組む農業生産者・生産者団体に与えられる農業生産工程管理の認証「GAP」(Good Agricultural Practice)の導入が推進されています。本サービスは、JGAP2016(Basic、Advance)に対応しており、一般財団法人日本GAP協会の推奨システムとなっており、国内への出荷のみならず輸出を目指している農業組織と生産者にも活用いただけます。2015年8月から実施した、おうみ富士農業協同組合との実証実験を経て、運用・管理面で必要とされる便利な機能の充実を図りました。滋賀県内の農業組織へのサービス提供からスタートし、順次地域を拡大していく予定です。

当社は、本サービスにより、全国の地域農業の発展を支援していきます。

【特長】

- (1) 栽培情報、作業記録の「見える化」による効率的な生産管理を実現
- (2) 地域に適合した農業のデータベース化による、農作物の安心・安全を向上
- (3) 農業組織と生産者との円滑なコミュニケーションをサポート

【お問合せ先】

アプライアンス社 事業開発センター 辻野、柏本
TEL:050-3687-6922(お問合せ受付時間:9:30-17:00(土日・祝日除く))

【主な特長】

(1) 栽培情報、作業記録の「見える化」による、効率的な生産管理を実現

生産者が、圃場、栽培情報、作業記録等を手持ちのスマートフォン、タブレット、パソコン等の端末から簡単に記録・蓄積することで、生産現場が見える化し、農業組織の指導員等と生産者が双方向で生育状況や収穫時期を把握する事ができます。また、情報を共有することで、迅速な出荷判断による販路拡大や市場ニーズを考慮した栽培計画など、効率的な生産管理が可能になります。さらに、生産履歴帳票が自動作成され、資料作成などの作業工数が削減できます。



(2) 地域に適合した農薬のデータベース化による、農作物の安心・安全を向上

本サービスでは、独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC）のデータベースを活用し、地域に適合した農薬データベースの作成が可能です。多様な検索方法から適正農薬を選択し、農薬の誤使用を防ぎます。また、農薬の使用状況を生産履歴帳票に反映し、農産物の安心・安全を高めることができます。さらに、病害虫が農薬に慣れてしまう「薬剤抵抗性」を回避するため、殺虫剤の系統をカテゴリーに分けて表示するなど、細かい点にも配慮しています。



(3) 農業組織と生産者との円滑なコミュニケーションをサポート

生産者からの相談に対し、指導員がスマートフォンなどの端末を通じて迅速、的確なアドバイスをすることが可能です。例えば、生産者から送付された病害虫の画像を確認し、指導員がその場で病害虫の種類や使用する農薬をアドバイスするなど営農指導を効率化し、生産力の向上をサポートします。

さらに、相談だけでなく、利用者同士で会話ができるグルーピング機能を実装し、コミュニケーション促進ツールとしての利用や新規就農者や農業生産法人内の人材育成にも活用できます。



本サービスは、日本GAP協会の「JGAP農場用管理点と適合基準 Basic、Advance 青果物2016」の内容を搭載。システム内に栽培情報、農薬情報等を記録することで、管理点の「栽培工程における共通管理」を中心とした項目に対応できます。また、GAP認証の取得に必要な項

目のうち、システムで対応できないものに関しては、管理項目内容や参考帳票を掲載しています。さらに、GAPを使った農場管理、認証取得を検討している方々へのコンサルタントについても対応してまいります。



〔栽培ナビ 契約者用トップ画面イメージ〕



〔作業実績登録の画面イメージ（一部）〕

【参考】

栽培ナビ 紹介サイト

<https://agri.panasonic.com/saibai>

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。